

サワイグループ環境ポリシー

サワイグループは、グループ企業理念である「なによりも健やかな暮らしのために」の実現を目指し、社会とともに持続的に発展するヘルスケア企業グループとして、気候変動への対応を含む環境保全活動を経営の重要課題（マテリアリティ）の一つと位置付け、積極的に推進するとともに継続的改善に努めます。

サワイグループは、すべての事業活動において、地球環境の保全、天然資源の保護、汚染の予防に努め、人々の健康で持続可能な社会の実現に貢献し続けることを基本方針として、ここにグループ環境ポリシーを定めます。

基本方針

1. 環境法規制の遵守と管理体制の構築

環境保全に関する国際的な宣言、規約、条約、ならびに事業展開している国と地域の法規制及びその他当社の合意した事項を遵守するとともに、事業構築の基盤とします。持続可能な社会を実現するため、企業活動が地球環境に与える影響を一人ひとりが認識し、環境保全に取り組みます。また「グループサステナビリティ委員会」の下に「地球環境チーム」を設け、環境課題への具体的な取り組みを推進し、取締役会がサステナビリティ関連のリスクや機会について報告を受け監督する体制を維持します。

2. 気候変動への対応と GHG 排出量の削減

気候変動を経営に影響を与える重要リスクと認識し、気候関連リスクと機会を、バリューチェーン全体で特定・評価・管理します。更に、気候変動否定派や、気候関連規制に反対する団体への寄付、およびそれらを目的としたロビー活動へ資金提供を行わないよう努めます。また、2050年ネットゼロの達成に向け、GHG 排出量削減およびエネルギー利用の効率化や再生可能エネルギーの導入・拡大を推進します。

3. 環境汚染の予防と化学物質の適正管理

製品のライフサイクル全体を通じて、水質汚染や大気汚染等の環境汚染を未然に防ぐとともに、環境負荷を最小限に抑えます。また化学物質を取り扱う企業の責任として、企業活動に伴う化学物質の把握・適正管理を推進し、環境負荷の低減に努めます。

4. 資源の効率的利用と循環型社会への貢献

限りある資源をより有効活用するとともに、プラスチック等の廃棄物削減及び再資源化、その他の天然資源の保護を促進します。

5. 生物多様性の保全

医薬品が様々な生物資源がもたらす恵みにより成り立っていることを理解し、生態系への影響に配慮した企業活動を通じて生物多様性の保全に努めます。TNFD フレームワークの考えに基づき、事業活動における自然関連課題の把握や整理を行い、ネイチャーポジティブの達成に向けて取り組みます。

6. 水資源の管理

医薬品のバリューチェーン全体における水資源の重要性を認識し、健全な水循環の維持と地域社会との共生に努めます。すべてのステークホルダーに対する安全な水と衛生へのアクセス確保を支援するとともに、WRI Aqueduct 等の外部データを用いたリスク評価に基づき、地域ごとの水ストレス状況に応じた取水量の削減と水利用の効率化、使用量の削減を推進します。あわせて、厳格な排水管理により淡水生態系の保護と水リスクの低減を図り、持続可能な社会の実現に貢献します。

7. 環境に配慮した製品・サービス

研究開発・購買・生産・流通など事業活動のあらゆる側面において、環境負荷の低減とユーザビリティの両立を追求します。

8. 教育・訓練と意識向上

環境保全に関する情報収集や教育を通じて意識の向上に努めます。すべての役員及び従業員に対し、環境に関する知識や意識の向上を目指した教育・啓発活動を計画的に実施します。

9. サプライチェーンとの連携

ビジネスパートナーやサプライヤーと連携し、責任ある環境保全活動をサプライチェーン全体で推進します。環境に関する情報開示を通じ、積極的な環境コミュニケーションを図ります。サステナビリティの問題についてステークホルダー等、社会との信頼関係を築きます。

10. 監査と情報開示

サワイグループは、内部監査または外部の第三者機関等により、客観性・透明性および環境データの正確性を確保し、適時適切に情報を開示します。環境に関するコンプライアンス状況についても、定期的に監査及び評価を行います。

サワイグループ各社の経営陣は、本ポリシーの実行を主導し、これに則り、法令遵守に基づいた事業運営がなされるように最大限の努力を行います。また、本ポリシーに反するような事態が発生した場合には、速やかに是正措置と再発防止に努めます。

11.適用

本ポリシーは、サワイグループを構成する企業に適用します。

附則

本ポリシーはサワイグループホールディングス グループサステナビリティ推進部担当役員の管轄とします。

2026年3月31日制定、2026年3月31日施行